

学生の現状把握について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年7月29日）

現在後期授業の形態などをご検討中だと思いますが、学生の現状把握などはどのように行っておられるのでしょうか。

私は一回生ですが、今まで授業を受けてきた中で学生が大学側に意見を述べる機会（アンケートなど）がほとんどないように感じました。そのため、教員側に学生の現状が伝わっておらず、課題の量などを配慮することが少なかったように思います。

期末に行う授業アンケートでは授業別には意見を述べることはできますが、全体としての日々の生活や精神状態などが伝わらないと思いました。各授業の課題が個々としてはそれほどの分量ではなくとも、週15コマ程度の授業があると負担が大きくなります。私自身はほとんど毎週、週末まで課題に費やすことになり精神的にも余裕がありませんでした。

また、オンラインでは教員や学生から受ける刺激が少ないため、後期授業も全面オンラインになるのでは、高い授業料を払う価値が少ないと感じます。また、後期授業がオンラインになる場合でも、前期授業を受けての学生の感想などを聞き取り、それに対する対策を行うことがなければ、納得することが難しいと考えます。

以上に述べたことは個人的なものではありますが、このような学生の状態をどのように把握しておられるのかをお聞かせ願います。また、今後アンケートなどを行うことはないのでしょうか。

【回答】（回答日：2020年8月6日）

（回答者：教育推進・学生支援部教務企画課）

学生の現状についてのご報告・ご感想を頂戴し、感謝いたします。

6月に、オンライン授業とメンタルヘルスに関する「学生の状況に関するアンケート調査」を実施し、その結果は各部局にフィードバックしており、後期に向けては、オンライン授業と対面授業を組み合わせた方法を検討しております。

なお、決定事項ではありませんので、正式に決まりましたら改めて通知いたします。

学生の皆さんが、それぞれの環境において新型コロナウイルス感染を防止しつつ、積極的に授業に参加できるよう配慮してまいります。